

【防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策】(河川隣接構造物の流失防止対策)

一般国道50号 茨城50号維持管理

- 一般国道50号は、群馬県前橋市を起点とし茨城県水戸市に至る全長約143kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定
- 橋梁や道路の流失等による道路の通行止めのリスクを解消するため、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策として、国道50号米沢高架橋において、護岸工等の洗堀・流失対策工事を実施することで、河川に隣接する道路構造物の流失防止対策を推進

【代表事例】

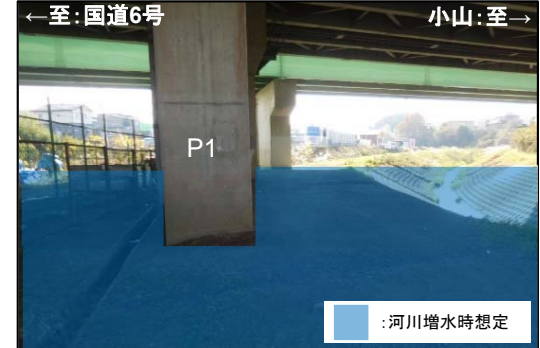
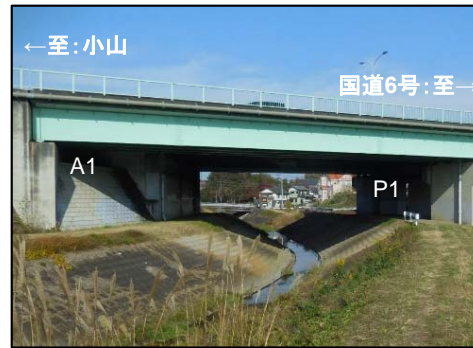
《諸元等》

《位置図》



橋梁名 : 米沢高架橋
 事業区間 : 茨城県水戸市笠原町 ~ 元吉田町
 建設年 : 1989年
 橋長 : 482.5m

《現状》



《平面図》



《対策イメージ》

